

海外安全対策情報（平成26年4月～6月）

1. 治安情勢

（1）ブリスベン・ゴールドコースト地区

全体的な治安情勢に大きな変化はなく、犯罪発生率は引き続き比較的低い数値で推移しているが、性犯罪、窃盗、薬物事犯の犯罪発生率は日本と比較すると依然として極めて高く、邦人を被害者とする同種事案も散発している。

（2）ケアンズ地区

ケアンズ市及びその近郊は州内においても犯罪率が高い地域であり、州、市議会及び州警察関係者の間でも問題意識が共有されており、警察官の増員やパトロール強化等の治安改善努力が行われている。

2. 一般犯罪の傾向

（1）ブリスベン・ゴールドコースト地区

ア 観光地の駐車場等では、依然として車上狙いが多発している。

イ 深夜、早朝に単独で徒歩通行中に襲撃され、金品を強取される事案が散発している。

ウ 深夜の公園や裏通り等で複数の男性から声を掛けられ、そのまま屋外で強姦される事案が数件発生している。

（2）ケアンズ地区

ケアンズ市及びその近郊では、邦人が被害者となる窃盗等が散見される。また、夜間の単独外出時等に被害に遭遇することもあるので、家屋及びホテルルームのドア、ベランダ出入り口及び窓等を確実に施錠すると共に、外出時は周囲に常に注意を払って行動する必要がある。

3. 殺人、強盗等凶悪犯罪の事例

邦人が関係する事案は発生していない。

4. テロ、爆弾事件発生状況

豪州政府の現在のテロ警戒レベルは、①Low、②Medium、③High、④Extreme の4段階のうち、②Medium（テロ攻撃が発生する可能性がある）であるが、2012年9月には、メルボルンのイスラム教関連施設等に対する警察の捜索により、関係者1名が逮捕され、爆発物の製造方法が記された資料、複数の銃器等が押収される等、テロに対する一般的な警戒は必要である。

5. 誘拐、脅迫事件発生状況

邦人が関係する事案は発生していない。

6. 対日感情

一般的な対日感情は概ね良好であり、現在までのところ、日本企業の安全に対する脅威となり得る問題は特段認められないが、環境問題等に関する抗議活動が散発的に行われていることから、動向に注意を払う必要がある。